

サービス業の景況感が改善

コスト上昇圧力が幾分弱まり、3月はサービス業の景況感が改善



欧州経済

景況感は改善、インフレ圧力は減退

- 3月のユーロ圏総合PMIは50.3と、好不調の節目となる50を10か月ぶりに上回った。コスト上昇圧力が幾分弱まっていることがサービス業の景況感の改善に寄与したと考えられる。
- 直近の経済指標は、建設が持ち直した一方、小売売上高や鉱工業生産が低迷した。
- 3月の消費者物価指数は前年比+2.4%と2月の同+2.6%を下回った。インフレ圧力が着実に弱まっていることを受け、ECB（欧州中央銀行）が6月の理事会で利下げを実施する可能性が高まっている。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。



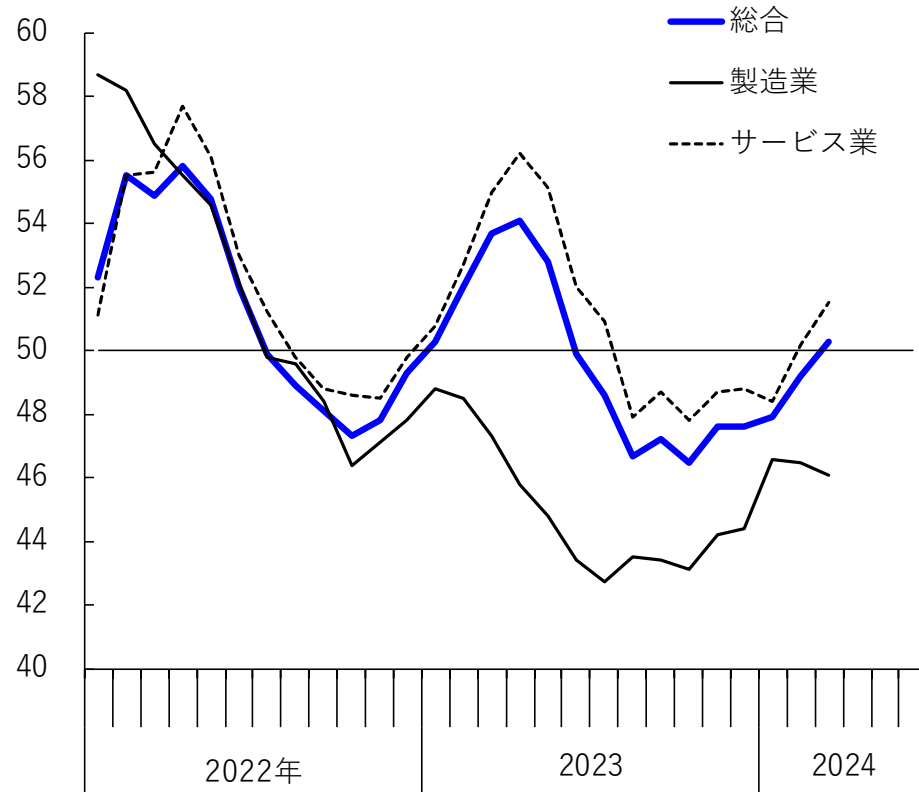
横浜銀行グループ

浜銀総合研究所

- 3月のユーロ圏総合PMIは50.3と、好不調の節目となる50を上回った（左図）。
 - 製造業の指数が低下したものの、サービス業の指数は51.5と、9か月ぶりの高水準に。
- 主要国別では、スペインやイタリアの景況感が改善、フランスやドイツは50を下回っている（右図）。
 - スペインやイタリアはエネルギー価格高の影響を強く受ける製造業のウエートが低く、観光業が好調なことなどから景況感の改善が進展。

ユーロ圏総合PMI

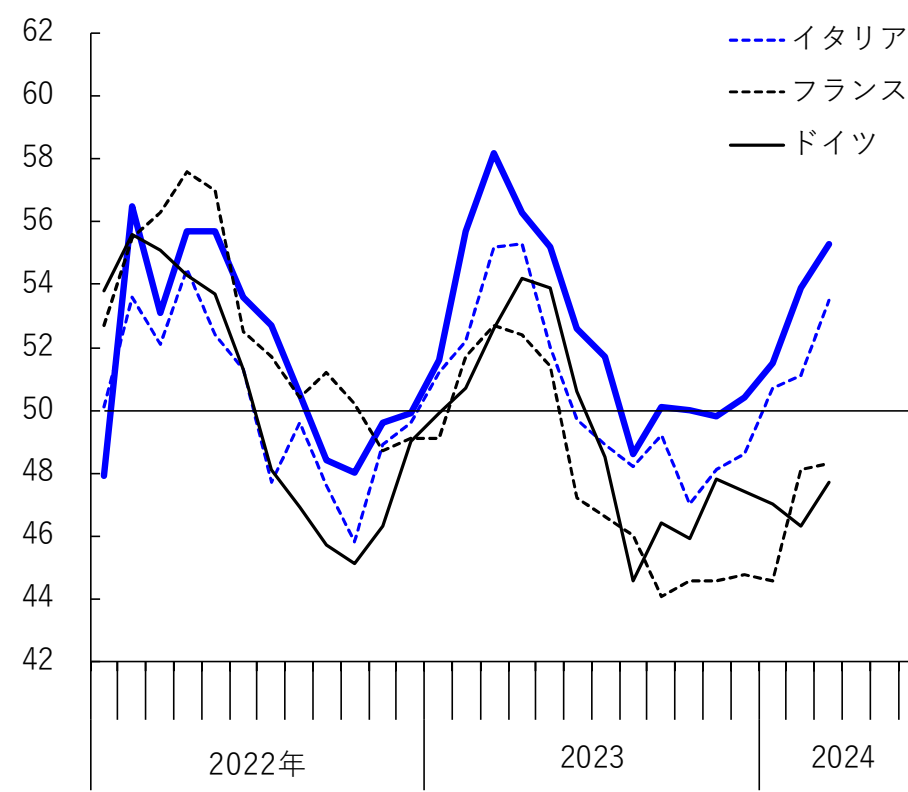
中立水準 = 50、季調済



注：指標の正式名称はHCOBユーロ圏PMI。
 出所：S & Pグローバル

ユーロ圏主要国の総合PMI

中立水準 = 50、季調済



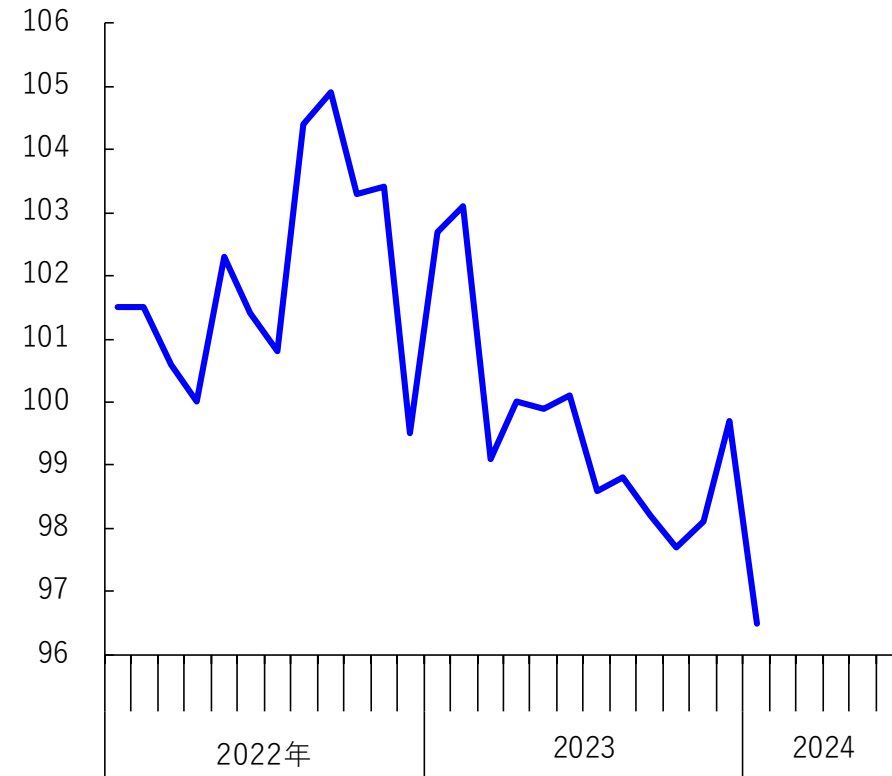
注：指標の正式名称はHCOB(各国名)PMI。
 出所：S & Pグローバル



- 1月のユーロ圏鉱工業生産指数は前月比-3.2%と、大幅に低下した（左図）。
- 資本財の生産が同-14.5%と大きく落ち込んだ。
- 1月のユーロ圏建設支出指数は前月比+0.5%と、2か月連続で上昇した（右図）。
- 建築の指数が同-2.1%と低下したものの、土木工事が同+1.0%と上昇。

ユーロ圏鉱工業生産指数

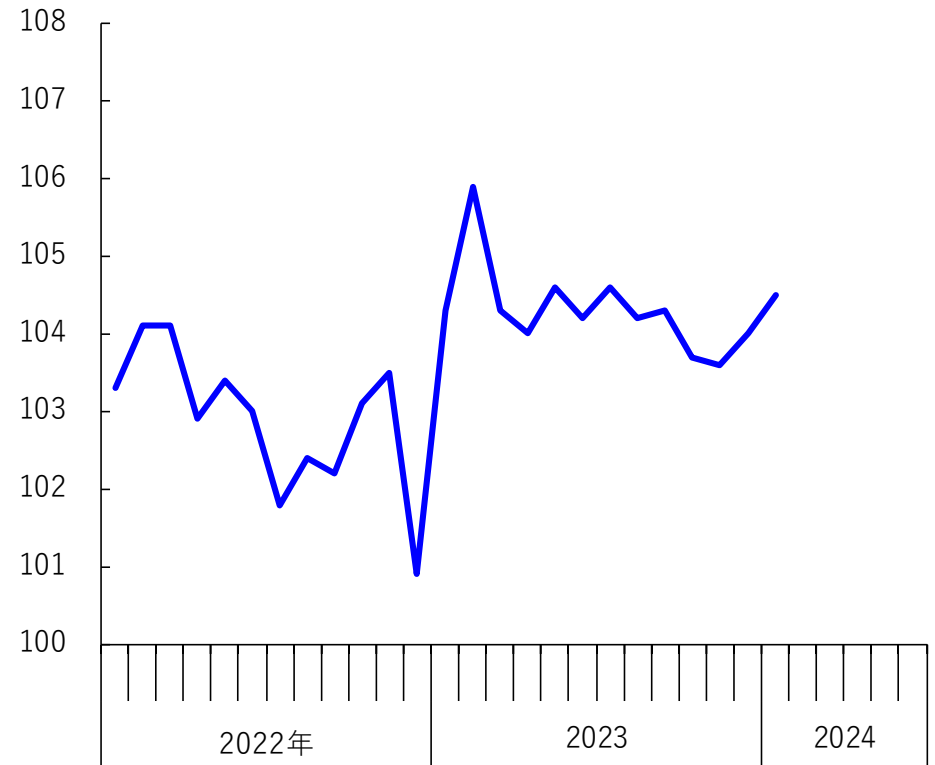
2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏建設支出指数

2021年=100、季調済

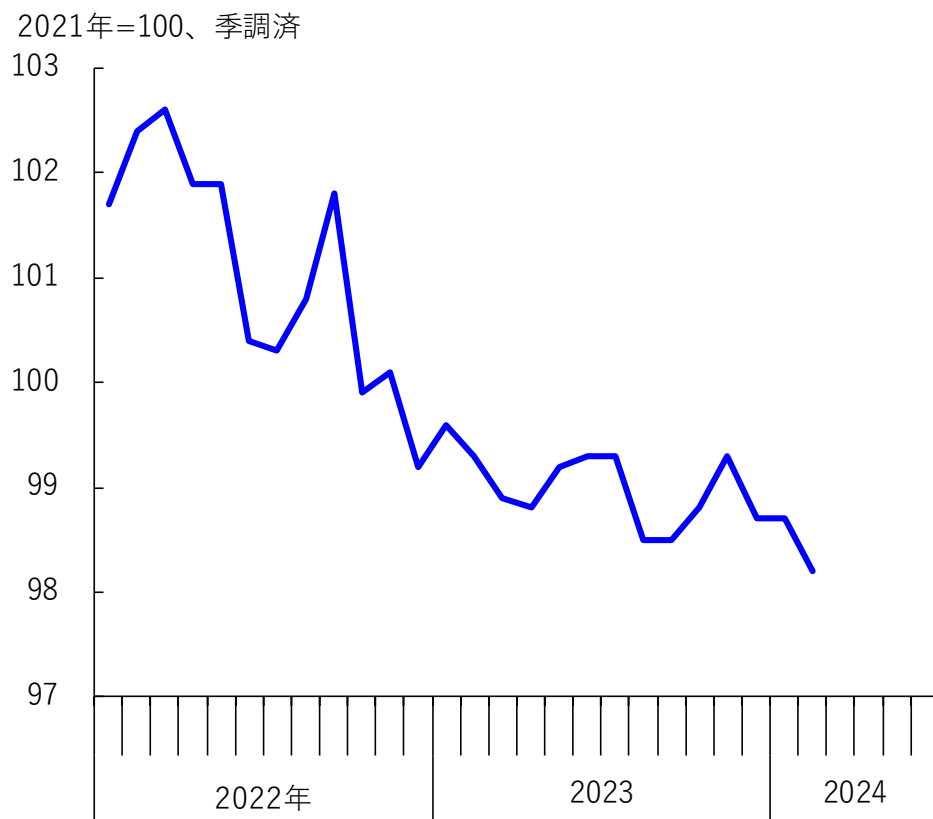


出所：欧州委員会統計局



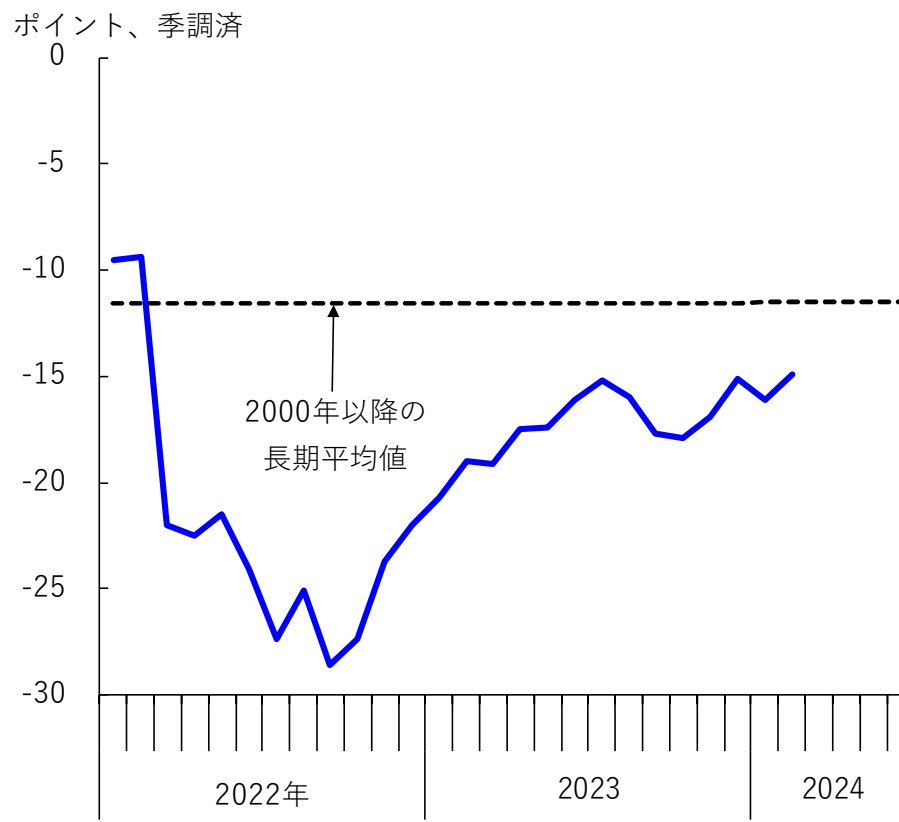
- 2月のユーロ圏小売売上高は前月比-0.5%と、減少した（左図）。
- 食料・飲料等が同-0.4%、非食品が同-0.2%、自動車燃料が同-1.4%と、主要品目が減少した。
- 3月のユーロ圏消費者信頼感指数は-14.9と、2月の-15.5から上昇した（右図）。
- インフレ圧力の低下を背景に、消費者マインドは持ち直しの兆しがみられる。

ユーロ圏小売売上高



出所：欧州委員会統計局

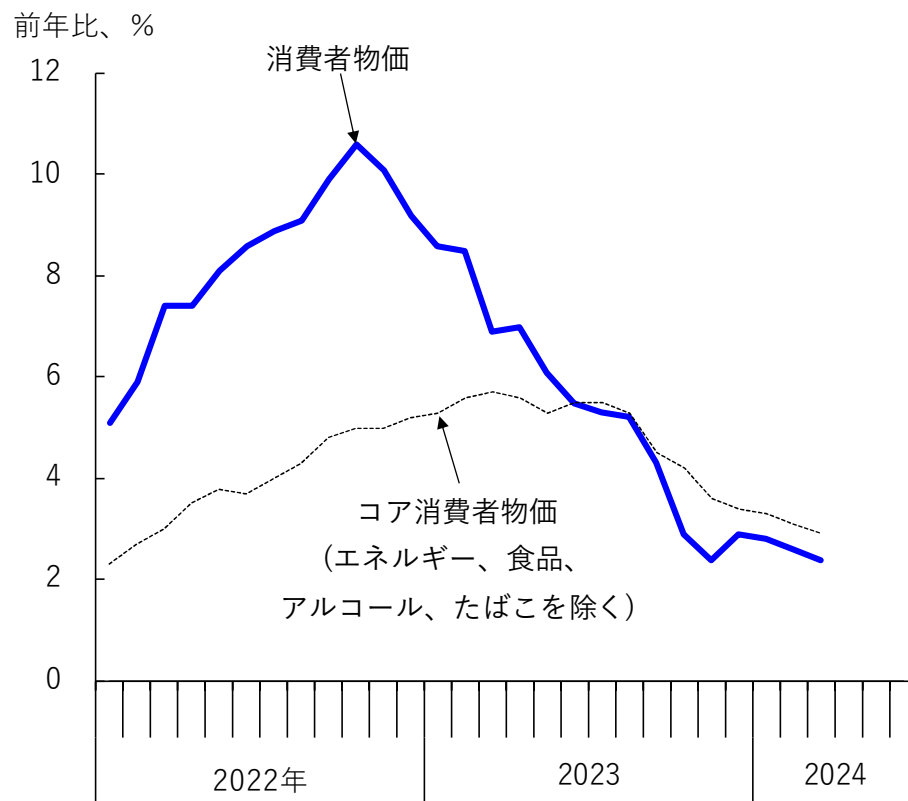
ユーロ圏消費者信頼感指数



出所：欧州委員会

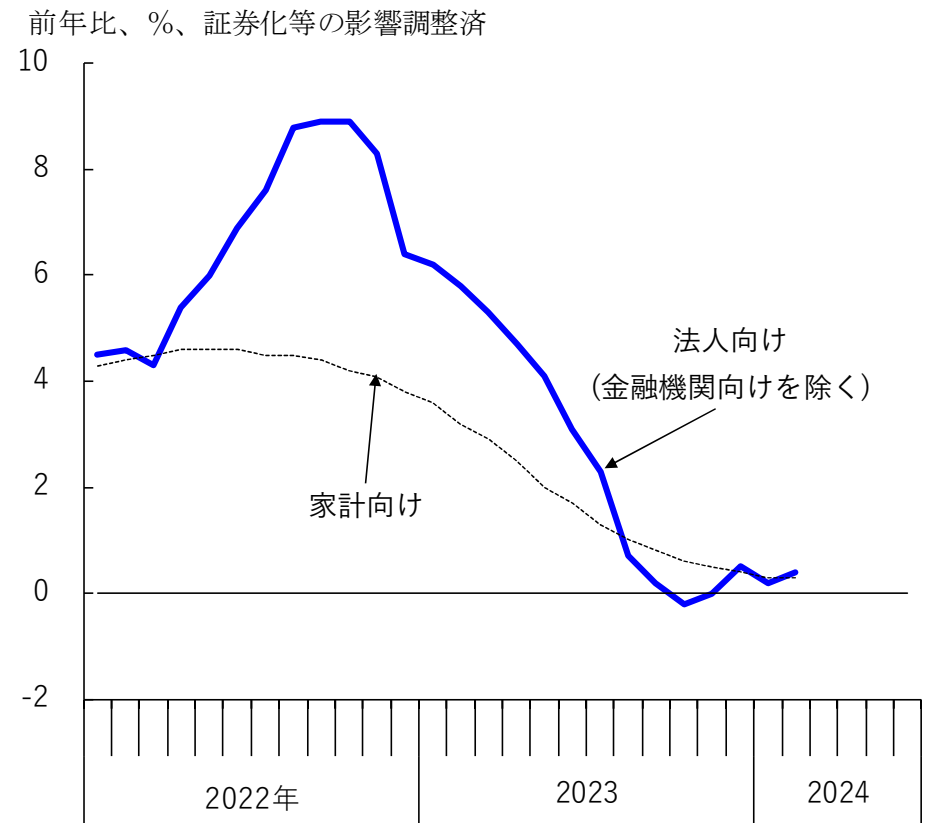
- 3月のユーロ圏消費者物価上昇率は前月比+2.4%と、前月の同+2.6%から低下した（左図）。
 - 市場の事前予想の横ばいに反して伸びが鈍化、欧州中央銀行による利下げを後押しする材料に。
- 2月のユーロ圏貸出残高は企業向けが前年比+0.4%、家計向けが同+0.3%と低迷した（右図）。
 - 金融引き締め効果の浸透により借入需要は低迷している。

ユーロ圏消費者物価指数



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏貸出残高

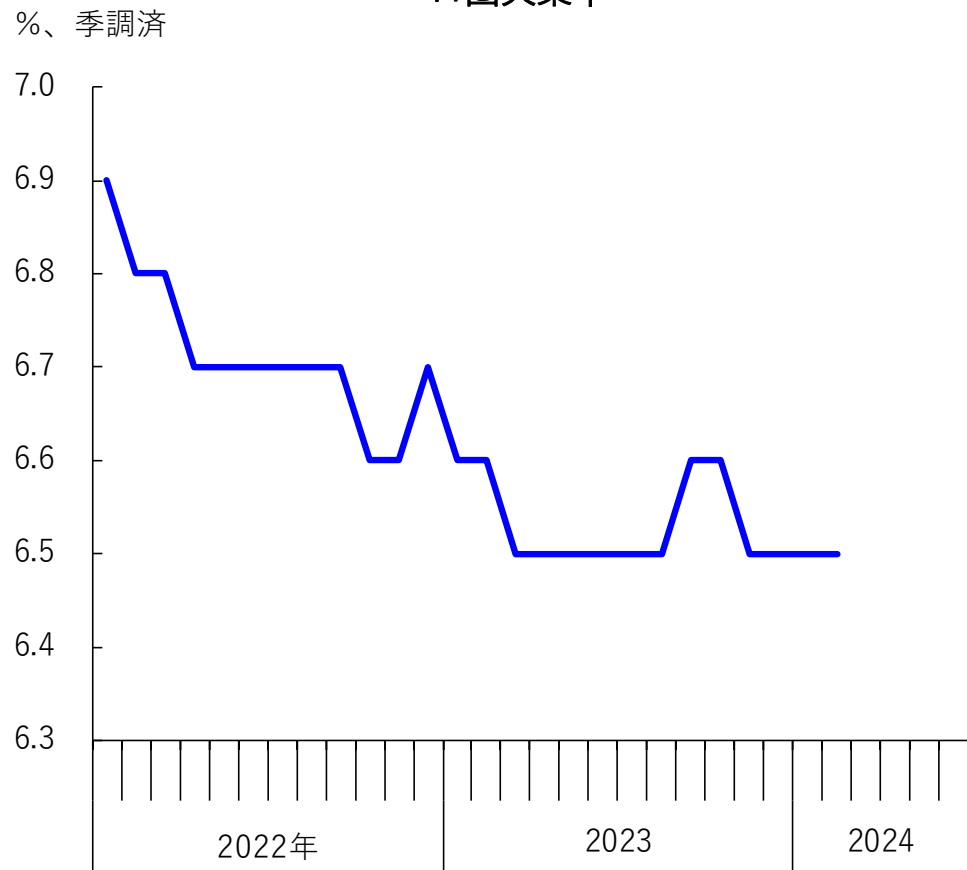


出所：欧州中央銀行



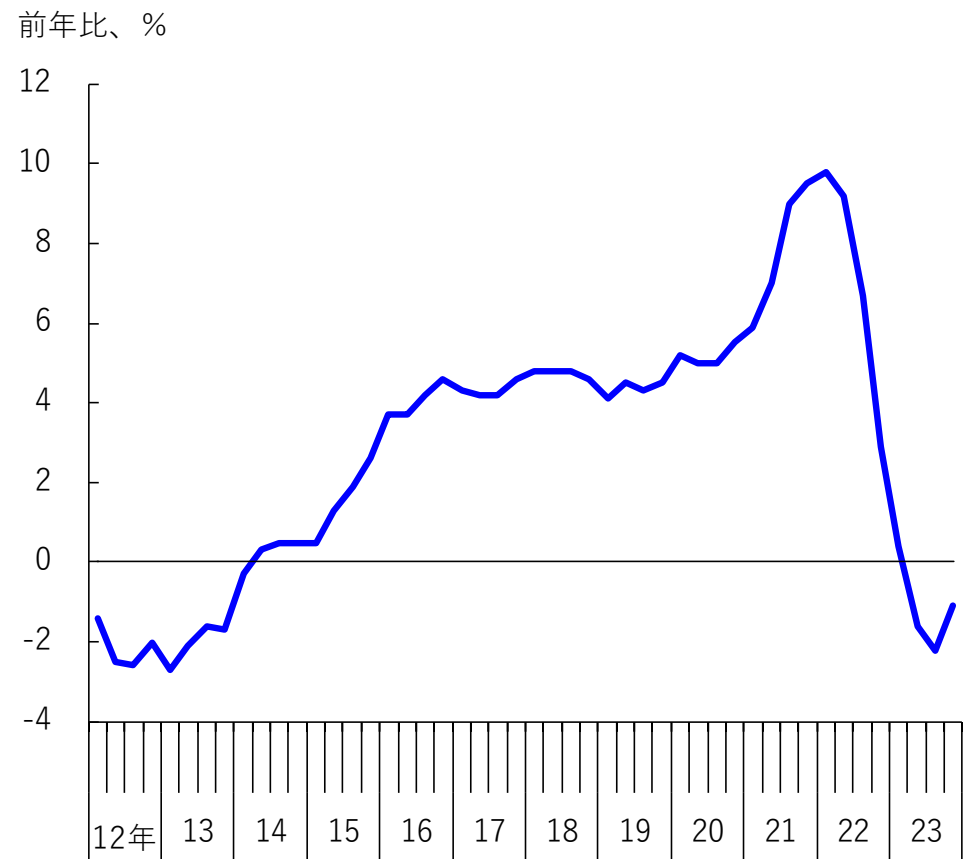
- 2月のユーロ圏失業率は6.5%と、前月から横ばいとなった（左図）。
 - －失業率は統計開始以来の最低水準が続く。
- 2023年10～12月期のユーロ圏住宅価格指数は前年比-1.1%と、3期連続のマイナスに（右図）。
 - －ドイツ（同-7.1%）やフランス（同-3.6%）が下落。スペイン（同+4.3%）やイタリア（同+1.8%）が上昇。

ユーロ圏失業率



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏住宅価格指数



出所：欧州委員会統計局



浜銀総合研究所



2024年4月10日
調査部 特任研究員
金子 修